

◎円借款の供与に関する日本国政府とエジプト・アラブ共和国政府との間
の交換公文

(略称) エジプトとの円借款取極

平成 四年三月二十四日 カイロで
平成 四年五月二十七日 効力発生
平成 五年十一月二十四日 告示

(外務省告示第五八二号)

目 次

ページ

| 日本側書簡 | ページ |
|---------------------------------------|-----|
| 1 円借款の供与 | 六九七 |
| 2 借款契約の締結及び借款の条件 | 六九七 |
| 3 借款の対象 | 六九九 |
| 4 生産物又は役務の調達 | 六九九 |
| 5 生産物の海上輸送及び海上保険 | 六九九 |
| 6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与 | 六九九 |
| 7 借款、利子等の免税 | 七〇〇 |
| 8 借款の適正使用等 | 七〇〇 |
| 9 計画の進捗状況に関する情報及び資料の提供 ^{ちょく} | 七〇〇 |
| 10 協議 | 七〇二 |
| エジプト側書簡 | 七〇二 |

(円借款の供与に関する日本国政府とエジプト・アラブ共和国政府との間の交換公文)

(日本側書簡)

(Japanese Note)

Cairo, March 24, 1992

Excellency,

日本側書
簡

書簡をもって啓上いたします。本使は、日本国とエジプト・アラブ共和国との間の友好関係及び経済協力を強化することを目的として資金還流措置の下でエジプト・アラブ共和国に対し供与される日本国の中の借款（今次事態によって影響を被つた中東関係国に対する日本国の中の経済的支援策の一環として日本国政府によって表明されたもの）に関して日本国政府の代表者とエジプト・アラブ共和国政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光栄を有します。

円借款の
供与

1. 百二十四億九千万円（一一一、四九〇、〇〇〇、〇〇〇円）の額までの円貨による借款（以下「借款」といふ）が、ギニスエフ・セメント工場建設計画III（以下「計画」といふ）の実施のため、海外経済協力基金（以下「基金」といふ）により、日本国の関係法令に従つて、エジプト・アラブ共和国政府に供与されることになる。

円借款の
供与
条件
の締結及
び借款の
条件

2. (1) 借款は、エジプト・アラブ共和国政府と基金との間で締結される借款契約に基づいて使用に供される。借款の条件及び使用に関する手続は、なかんずく次の原則を含むこと

エジプトとの円借款取極

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the Arab Republic of Egypt concerning a Japanese loan to be extended to the Arab Republic of Egypt with a view to strengthening the friendly relations and economic cooperation between the two countries, under the Financial Recycling Scheme, announced by the Government of Japan as one of the measures for Japan's economic assistance to the Middle Eastern countries affected by the current situation:

1. A loan in Japanese yen up to the amount of twelve billion four hundred and ninety million yen (¥12,490,000,000) (hereinafter referred to as "the Loan") will be extended to the Government of the Arab Republic of Egypt by the Overseas Economic Cooperation Fund (hereinafter referred to as "the Fund") in accordance with the relevant laws and regulations of Japan for the implementation of Beni-Suef Cement Factory Construction Project III (hereinafter referred to as "the Project").
2. (1) The Loan will be made available by a loan agreement to be concluded between the Government of the Arab Republic of Egypt and the Fund. The terms and conditions of the

| 協議 | 計画の進捗状況に關する情報及び資料の提供 | 借款の利子等の免稅の正使用 |
|----|---|---|
| 7 | エジプト・アラブ共和国政府は、基金について、借款及びそれから生ずる利子に対し又はそれらに関連してエジプト・アラブ共和国において課されることのあるいかなる財政課徴金又は租税も課されないことを確保する。 | 7 エジプト・アラブ共和国政府は、基金について、借款及びそれから生ずる利子に対し又はそれらに関連してエジプト・アラブ共和国において課されることのあるいかなる財政課徴金又は租税も課されないことを確保する。 |
| 8 | エジプト・アラブ共和国政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。 | 8 エジプト・アラブ共和国政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。 |
| 9 | (a) 借款が適正にかつ専ら計画のために使用される。 (b) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定める印のため適正にかつ効果的に維持され及び使用される。 | (a) 借款が適正にかつ専ら計画のために使用される。 (b) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定める印のため適正にかつ効果的に維持され及び使用される。 |
| 10 | 両政府は、前記の了解から又はそれに関連して生ずるとのあるいかかる事項についても相互に協議する。 | 両政府は、前記の了解から又はそれに関連して生ずるとのあるいかかる事項についても相互に協議する。 |
| | 本使は、更に、この書簡及び前記の了解をエジプト・アラブ共和国政府に代わつて確認される閣下の返簡が両政府間の合意を構成するものとみなし、その合意がその効力発生のために必要な国内手続を完了したのエジプト・アラブ共和国政府からの書面による通告を日本国政府が受領した時に効力を生ずるものとすることを提案する光榮を有します。 | I have further the honour to propose that this Note and Your Excellency's Note in reply confirming the foregoing on behalf of the Government of the Arab Republic of Egypt shall be considered as constituting an agreement between the two Governments, which will become effective upon the receipt by the Government of Japan of the written notification from the Government of the Arab Republic of Egypt of the completion of necessary domestic procedures for the entry into force of such agreement. |
| | この書簡は、ひとしく正文である日本語、アラビア語及び英語の書簡は、ひとしく正文である日本語、アラビア語及び英語 | This Note is written in the Japanese, |

語により作成され、解釈に相違がある場合には、英語の本文によるものとします。

本使は、以上を申し進めるに際し、常に重ねて署名に向かって敬意を表します。

一千九百九十一月一一日日本カイロ

Arabic and English languages, each text being equally authentic, and in case of any divergence in interpretation, the English text shall prevail.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

スリランカ共和国駐在
日本国特命全権大使 山田貞正

(Signed) Chusei Yamada
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the Arab Republic of Egypt

スリランカ共和国

国際協力大臣 ヤーリス・マクラム・アラー閣下

His Excellency
Dr. Maurice Makramalla
Minister of State
for International Cooperation
of the Arab Republic of Egypt

(エジプト側書簡)

(Egyptian Note)

Cairo, March 24, 1992

エジプト
側書簡

書簡をもって啓上いたします。本大臣は、本田付けの墨トの
次の書簡を受領したことを確認する光榮を有します。

(日本側書簡)

本大臣は、更に、前記の了解がエジプト・アラブ共和国政府
の了解でもあることを同政府に代わって確認するとともに、閣
下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成するものとみな
し、その合意がその効力発生のために必要な国内手続を完了し
た旨のエジプト・アラブ共和国政府からの書面による通知を由
本国政府が受領した時に効力を生ずるものとする旨に同意す
る光榮を有します。

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the Arab Republic of Egypt that the foregoing is also the understanding of the Government of the Arab Republic of Egypt and to agree that Your Excellency's Note and this Note in reply shall be considered as constituting an agreement between the two Governments, which will become effective upon the receipt by the Government of Japan of the written notification from the Government of the Arab Republic of Egypt of the completion of necessary domestic procedures for the entry into force of such agreement.

この書簡は、ひとしく正文であるアラビア語、日本語及び英
語により作成され、解釈に相違がある場合には、英語の本文に
よるものとします。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、常に重ねて閣下に向
かって敬意を表します。

千九百九十一牟二月二十一日 田口カイロ

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

エジプト・アラブ共和国

国際協力大臣 ヤーリス・マクラム・アリー

(Signed) Maurice Makramalla
Minister of State
for International Cooperation
of the Arab Republic of Egypt

エジプト・アラブ共和国駐在

日本国特命全権大使 山田忠正閣下

His Excellency
Mr. Chusei Yamada
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the Arab Republic of Egypt

(ابنیانہ) کریم (اہلیت)

اکھر و اب

(١) سمت الاستئثار بن السلطات المختصة، نهى الحكميين على بناء دولة العصابة، لاستئثارات استئثاره بدول الاستئثار، متنبأ بالشرط أن تكون هذه الاستئثارات مشتملة في دول الاستئثار، سالفة، متنبأ.

راتنی و نشان مده المدحه و بدد لسادتکم الساکید بعظیم تقدیری

الذكرية (الصريحة)

القاهرة في ٢٤ مارس ١٩٩٢

١٢٦

اشرل بالاحمد بانتى لد تاليفت مد كرا مدادتكم السررخه البير رالتن

مختصر نون الماء
ومنه من الإيمان
لدى جمهورية مصر العربية

میثاق

صاحب المسحات
دكتور موريس شكر الـ
وزير الدولة للتعاون الدولي

حررت هذه المذكرة^٢ من ثلاثة أصول بالذات المرجعية إلى باطنية
والذين ينبعوا كل منها من العجمية ، وعند اى اختلاف في التلبير يعتمد
بسادس الاتيالبر .

راپتیں ہوتے ہوئے مدد و معاونت کیم اس کا نتیجہ ہے۔

وزير
الدولة للتعاون الدولي

صاحب المسماة ،
السيد / تشنغ تشونغ سوس يامانبا

エジプトとの円借款取極

(参考)

この取極は、海外経済協力基金がエジプト政府に対し、百二十四億九千万円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認したものである。